



館蔵資料展「イランの技とデザイン：奥井コレクション展」

令和2年、故・奥井俊美氏が収集された資料を松戸市立博物館にご寄贈いただきました。奥井氏のコレクションはイラン等で収集され、イスラーム陶器を中心に先史時代から近代に至るまで多様な時代の資料を含み、総数は313点にのぼります。本展覧会では初公開となる奥井コレクションの資料を通じて、各時代のイランを特徴づける製作技術やデザイン、それらの歴史的背景を紹介します。

●会 期

令和4年4月29日（祝）～6月12日（日）9時30分～17時

※入場は16時30分まで

※月曜及び5月27日（金）は休館

プレス展示内覧会 令和4年4月28日（木）14時～15時

●会 場

松戸市立博物館 企画展示室

●観 覧 料

無料

●展示構成

イランおよび周辺地域に由来する銅石器時代～イスラーム時代（前5千年紀～後14世紀まで）の資料を展示します。奥井コレクションから167点、従来からの所蔵資料2点、のべ169点。展示は時代ごとの4章で構成します。



I. いにしへの造形：銅石器時代～サーサーン朝期（前5千年紀～後7世紀）

イスラーム以前の資料を紹介します。最も古い資料は銅石器時代の土器です。赤い化粧土をかけ、黒の顔料で文様を描いています。奥井コレクションには前1000年前後、鉄器時代の初めごろの資料があります。表面が丁寧に磨かれた黒い土器や、ルリスターン青銅器とよばれる青銅製の武器、装飾品などが特徴的です。



壺
銅石器時代（前5千年紀）



把手付壺（はしゅつきつぼ）
鉄器時代（前13～前9世紀）



アングレット・プレスレット
（青銅製）
鉄器時代（前13～前9世紀）

II. イスラームの多彩なデザイン：9～11世紀

9～10世紀ごろ、イラン北東部のニーシャープールでは多様な陶器が作られました。奥井コレクションからニーシャープールと共通する特徴をもった陶器を紹介します。



多彩釉下刻線文鉢
（たさいゆうかこくせんもんはち）
9-10世紀



白釉上緑彩鉢
（はくゆうじょうりょくさいはち）
9-10世紀



透明釉下スリップ彩鉢
（とうめいゆうかすりっぷさいはち）
9-10世紀



III. 技術革新とターコイズブルー：12世紀後半～13世紀前半

イスラーム陶器らしいターコイズの釉薬をかけた陶器は12世紀以降に作られたものです。従来の天然陶土に代わってフリット胎土という土が使われ始めたため、釉薬もフリット胎土と相性がいいものになり、ターコイズの発色が可能になったのです。

この時期には、焼き上げた釉の上から着彩し、再度焼成したエナメル彩陶器など高度な技術と手間を要する陶器も作られ、高級品として珍重されたと考えられています。



青緑釉穿孔・刻線文鉢
(せいりよくゆうせんこう・こくせんもんはち)
12-13世紀



青緑釉下型押把手付水差
(せいりよくゆうかかたおしはしゆつきみずさし)
12-13世紀



白釉上エナメル彩鉢
(はくゆうじょうえなめるさいはち)
12-13世紀

IV. モンゴリアン・インパクト：13世紀後半～14世紀

13世紀中ごろ、モンゴルがイランに侵攻し、イルハン朝が成立します。そのような歴史的背景のもと、陶器には中国的な器の形や文様が採用されるようになります。



青緑釉鉢
(せいりよくゆうはち)
13-14世紀



青緑釉下黒彩鉢
(せいりよくゆうかこくさいはち)
13-14世紀



透明釉下灰地白盛上スリッパ彩台付鉢
(とうめいゆうかはいじしろもりあげすりつぱさいだいつきはち)
13-14世紀



●関連企画

1. 館蔵資料展記念講演会「9世紀から14世紀までのイラン製陶器の歴史—奥井コレクションのイスラーム陶器を読み解く」

日時 令和4年5月7日(土) | 3時~15時

会場 松戸市立博物館講堂

講師 日本学術振興会特別研究員PD・神田 惟(かんだ ゆい)氏

2. 学芸員講演会「奥井コレクションで学ぶ先史時代のイラン」

(博物館友の会共催)

日時 令和4年5月21日(土) | 3時~15時

会場 松戸市立博物館講堂

講師 松戸市立博物館学芸員・西村広経

3. 各種ワークショップ

(1) 古代メソポタミアの宅急便：円筒印章／スタンプ印章を使ってみよう

古代メソポタミアで荷物の封印や認証に使われた円筒印章やスタンプ印章(はんこ)の使い方を体験します。

日時 ①令和4年5月3日(祝) ②令和4年5月8日(日)

③令和4年6月4日(土)・5日(日) 各10時~16時

場所 ①21世紀の森と広場(こどもまつり)

②③森の工芸館(21世紀と森の広場内、森のこども館共催)

(2) イスラーム陶器風紙皿ペイント

紙皿をイスラーム陶器を模して色を塗り、おしゃれな器をつくります。作業を通じて文様の特徴や釉薬の重ね方などの製作技法を学びます。

日時 令和4年5月4日(祝)・5日(祝)、令和4年6月11日(土)

各10時~12時、13時30分~15時30分

場所 市立博物館実習室

(3) ガラスビーズを作ろう

ガラス製のビーズを実際に作って、製作技法を学びます。

日時 令和4年5月22日(日)、6月12日(日)

各10時~12時、13時30分~15時30分

場所 市立博物館

※募集案内等詳細は当館ホームページ、SNS、広報まつど等に掲載します。

【本件に関する問い合わせ先】

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

松戸市生涯学習部博物館 ☎ 047-384-8272

FAX 047-384-8194 ✉ mchakubutsukan@city.matsudo.chiba.jp